



平成27年12月17日

各 位

会 社 名 クミアイ化学工業株式会社
代 表 者 取締役社長 小池好智
(コード番号 4996 東証第1部)
問 合 せ 先 経営管理部長 吉村 巧
(TEL. 03-3822-5036)

新中期経営計画 (2016年～2018年) －「Grow up KUMIKA 3rd Stage」－

当社グループは、今般、2016年度（平成28年10月期）から2018年度（平成30年10月期）にかけての新中期経営計画「Grow up KUMIKA 3rd Stage ～ Create the Future 未来を拓く～」をスタートしましたので、その概要をお知らせいたします。

本計画では、更なる改革と基盤の強化に取り組み、畑作用除草剤ピロキサスルホンや水稲用除草剤フェノキサスルホンなどの新規開発剤の販売が本格的に事業に貢献する第70期2018年度には売上高800億円、営業利益50億円達成を目指します。

1. 「Grow up KUMIKA 2nd Stage」までの振り返り

当社は、2011年1月より「スピード」、「コスト」、「イノベーション」をスローガンとして、経営改革を推進いたしました。2013年度には「2000年に帰ろう」をキーワードとして、2000年の売上高421億円を目指すという具体的目標を設定して増収増益に取り組んだ結果、それまでのマイナス基調から成長基調へと変革し、わずか3年間で100億円の増収を達成いたしました。

2013年度からスタートした前中期経営計画「Grow up KUMIKA 2nd Stage」では、「幸せな会社」という新たな企業文化に基づき、「意識、システム、体質」を変え、心技体三位一体の筋肉質経営を行い、ベクトルを合わせ、永続的な成長と企業価値の向上を図ることに取り組みました。その結果として、2nd Stage最終年度である2015年度には、売上高610億円、営業利益37億円と5期連続での増収増益を達成いたしました。

(億円)

連結指標	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	383	421	441	493	554	611
営業利益	10	14	17	21	26	37
経常利益	17	21	28	34	43	80
ROE(%)	3.4	3.6	5.2	5.5	6.6	13.1

2. 新中期経営計画「Grow up KUMIKA 3rd Stage」の概要

今後の国内農薬事業は、TPP や規制改革によって生じる農業情勢の変化に伴い、少なからぬ影響を受けると考えられます。一方、世界農薬市場は北米や欧州の安定成長に加え、ブラジルや中国、インドなどの新興国で高い成長が続く見通しです。

このような中で、当社はさらに継続して成長し続けるため、国内基盤を確実に維持することに加え、北米や新興国を中心とした農薬市場の拡大に対応可能な事業展開を推進します。当社グループには自社既存剤、新規剤とパイプライン化合物に加え、オンリーワン技術商品や製剤技術力という技術基盤があり、これらの独自商品や技術力を有効に活用することで、業界トップを目指してまいります。

1) 新ビジョン ～ Create the Future 未来を拓く ～

- ✓ 幸せで日本一の永続企業
- ✓ 安全安心で豊かな食と農に貢献する
- ✓ 業界トップへと飛躍する

2) 基本方針

人材、組織の育成・強化を図り、安全・安心で豊かな食と農の実現に貢献することで、収益力を高め、企業価値の向上を実現し、クミカの次の未来を拓く

- ① 持続的成長の維持： 増収増益を継続する盤石な経営基盤の構築
- ② 企業体質の強化： 売上総利益率 向上、原体コスト低減の実現
- ③ 研究開発の促進： 将来に向けたパイプラインの拡充
- ④ 海外事業展開の推進： 海外拠点の整備・強化；北米、アジア
- ⑤ 人材と組織の育成強化： 営業・技術ノウハウの伝承と人材力の向上

3) 数値目標

連結指標	2016 年度目標	2018 年度目標
売上高	740 億円	800 億円
営業利益	45 億円	50 億円
ROE	9.5%	10%以上

4) 永続企業となるために

Grow up KUMIKA 3rd Stage においては、大きな売上拡大が海外を中心に見込まれます。売上とともに利益を確実に伸ばしていく持続的に発展できる強い企業として、更なる収益体質の強化にグループ総力を挙げて取り組んでまいります。

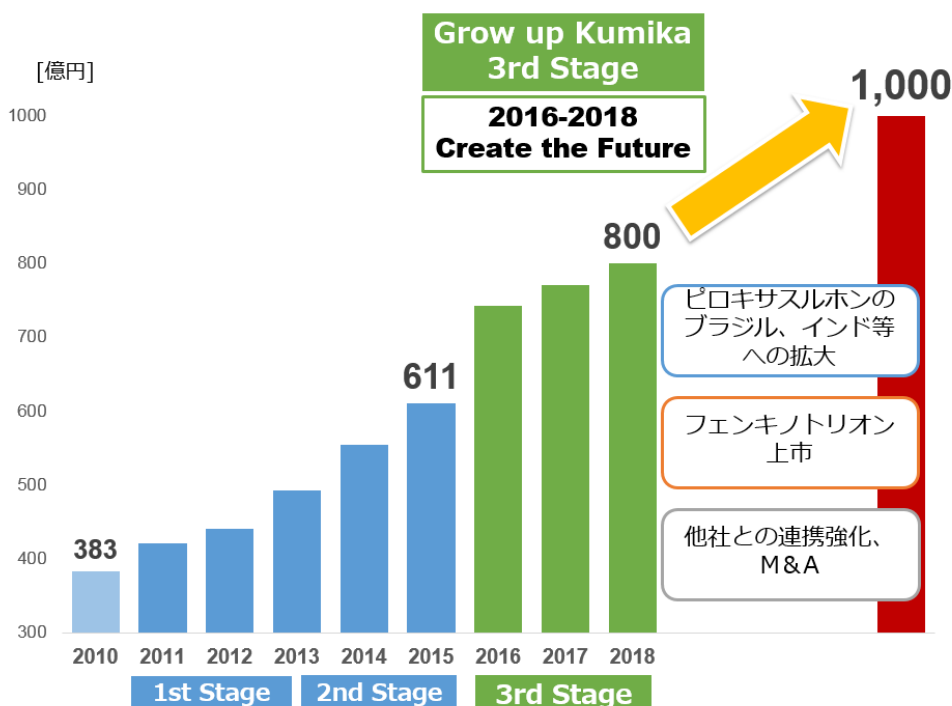
5) コーポレートガバナンスの強化・充実

クミアイ化学行動憲章に基づき、社会的な要請に応えるとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資する攻めのガバナンス体制を確立することを目指すため、コーポレートガバナンスをより強化・充実してまいります。

- ① 企業価値向上型ガバナンスを目指し、「コーポレートガバナンス・コード」への適切な対応を行い、攻めのガバナンス体制を確立する。
- ② より適切な情報開示と透明性を確保し、株主に対する会社説明会の実施時期、実施回数をより充実させ、企業価値を向上させる。

6) クミカの次の未来を拓く

Grow up KUMIKA 3rd Stage で売上高 800 億円の達成を目指します。次のステージにおいては、畑作除草剤ピロキサスルホンのブラジル、インド等への拡大、新規除草剤フェンキノトリオンや新規殺菌剤の上市、既存剤の適用拡大による拡販、高付加価値化、更には他社との連携強化や M&A、有望剤の取込みにより、成長基調をさらに高め、売上高 1,000 億円、営業利益 70 億円の達成を図ります。



以上